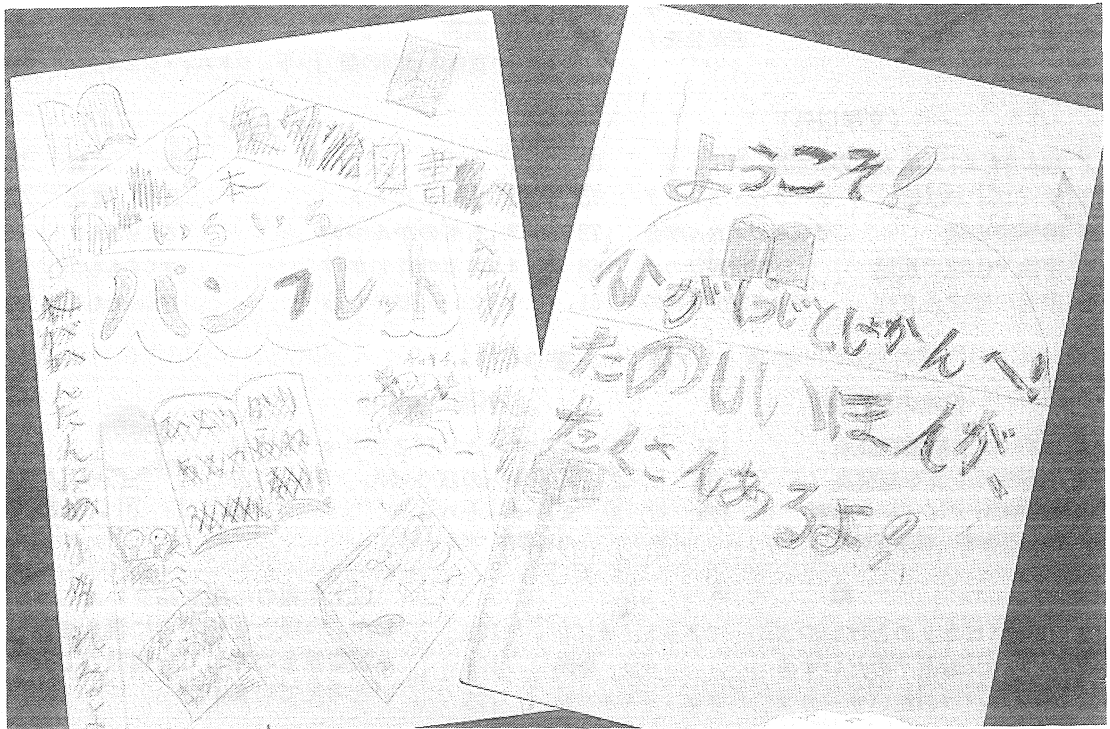


# としょかん宇治

No. 35

1995年11月1日発行  
宇治市中央図書館  
〒611 宇治市折居台1-1  
0774 (20) 1511

宇治市東宇治図書館  
〒611 宇治市五ヶ庄三番割36-5  
0774 (32) 2232



宇治市立宇治小学校の生徒がつくったパンフレット

## 図書館の見学をして

宇治市立宇治小学校 3年担任

疑問・課題・迷いを解きほぐしてくれる図書館——それは、ドラえもんのかばんの存在と言えるでしょう。

小学校のとなりにある東宇治図書館を、一学期に学習の一環として見学させていただきましたが、そこでは、目を輝かせ図書館の魅力を限りなく引き出している児童の姿とどん欲さがありました。

一般的に、図書館は、新しい発見・驚きがあるワンダーランドであり、人類の未来や自分の将来を思いめぐらすドリムランドであると言えます。また、いろんな生き物や自然現象、宇宙に出会えるファンタジックな世界でもあります。そして、児童は図書館の魅力を限りなく引き出す名人と言えるでしょう。

これからも、図書館が、児童にとって、魅力いっぱい存在であり続けて欲しいと願っています。



平成6年

よく読まれた本



《 成 人 書 》

(日本文学)

1 キッチン	吉本ばなな	149
2 ノルウェイの森 上・下	村上 春樹	114
3 鐘	内田 康夫	97
4 朝の歎び 上・下	宮本 輝	95
5 蔵 上・下	宮尾登美子	94

(文学以外)

1 日本をだめにした九人の政治家	浜田 幸一	85
2 マーフィの法則	アーサー・ブロック	75
3 磯野家の謎	東京サザエさん学会	72
4 宇治・山城の民話	宇治民話の会	68
5 宇治の歴史と文化	宇治市歴史資料館	61

(外国文学)

1 ワイルド・スワン 上・下	ユン・チアン	223
2 マディソン郡の橋	ロバート・ジェームズ・ウォラー	168
3 明け方の夢 上・下	シドニィ・シェルダン	104
4 血族 上・下	シドニィ・シェルダン	100
5 真夜中は別の顔 上・下	シドニィ・シェルダン	83

(エッセイ)

1 大往生	永 六輔	79
2 生きるヒント	五木 寛之	77
3 もものかんづめ	さくらももこ	76
4 さるのこしかけ	さくらももこ	68
5 たいのおかしら	さくらももこ	62

《 児 童 書 》

日本の読み物

1 ズッコケ結婚相談所	134
2 謎のズッコケ海賊島	131
3 驚異のズッコケ大時震	124
(著者 那須正幹)	

外国の読み物

1 エルマーと16ぴきのりゅう	144
2 エルマーのぼうけん	127
3 エルマーとりゅう	120
(著者 ガネット)	

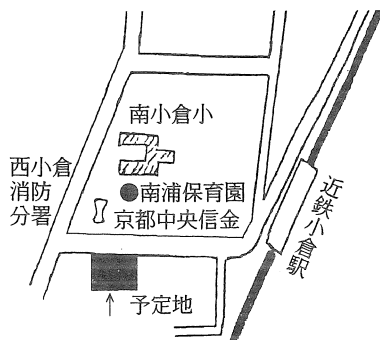


絵 本

1 バーバピカリのとけいやさん	アネット・チゾン	199
2 ノンタンおよぐのだいすき	大友 康匠	193
3 バーバパパのだいサーカス	アネット・チゾン	175

以上年報の一部を紹介いたしました。今後とも皆さんに親しまれる図書館をめざして一層努力したいと考えています。

仮称、西宇治図書館建設予定地  
(仮称西小倉地域福祉センター3階)



仮称西宇治図書館建設計画(1)

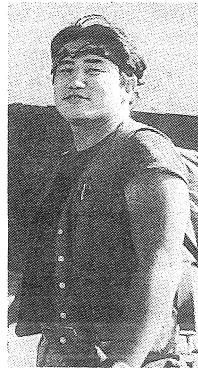
中央図書館と二分館と移動図書館により宇治市における公共図書館の全域サービスマネジメントを構築するというのが、第三次宇治市総合計画における図書館構想です。この構想の最終仕上げとして仮称西宇治図書館を平成八年度中に建設すべく本年度予算に実施設計費が計上されました。設置場所も既に確定し、宇治市小倉町山際六三ー一／六四ー一番地と同じく八年度中に建設予定の仮称西小倉地域福祉センターとの複合施設として建設されることになりました。西宇治地域の人々には早くから待望されていた両施設の建設が間近になったことを心より喜ばたいと思います。

# 図書館へようこそ

## 利用者にインタビュー

### 第22回

小 山 清 さん



今回は取材旅行をした時には必ずその図書館にも寄ってしまおうという本好きなフォト・ジャーナリストの小山清さん(西大久保団地在住)にお話を伺いました。

☆図書館はいつごろから利用されていますか？

宇治市に来たのが一九八八年なのでそのころから利用しています。多ければ週に一回位来ていますよ。外国に行く時には、ここの本を借りて国情について学んでいます。☆やはり旅行の本が多いんですか？  
そうですね。本が好きで、政治経済・国情的なもの、小

説など乱読しています。最近では船戸与一などハードボイルド的な作品をよく借りてるなあ。写真家の藤原新也さんの写真集も……。☆お目あての本はすぐに見つかりますか？

見つからない時は似たものを借りますけれど、いろいろ捜しているうちに思いがけない本に意外な出会いをするんです。この前なんかセバスチャン・サルガドの「人間の大地」を偶然見つけたんです。開発途上国の人間の労働をテーマにした写真集で高価な本なんです。図書館にあるということはいつでも見れるということ、半分は僕の本みたいなものですね。うれしいですよ。(笑)

☆図書館に対してご感想や要望などがありましたら？

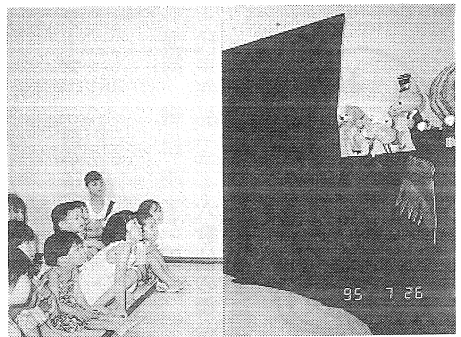
僕としては「週刊金曜日」という雑誌を入れてほしいということと、これからの課題と思うんですが宇治市の西の端に住んでいるので、市の行政サービスのようなどころがあって、中央図書館に行くなくても電話一本でそこに借りた本が届くようなサービスがあるといいなと切実に感じますね。中央図書館はぼくらには遠いですよ。

☆ありがとうございました。

## 折々 NEWS



七月二十六日の宇治市中央図書館の「おはなし会」はいつもより少し時間をのばして、大型紙しばいや人形劇サークル「とらごろう」の皆さんに楽しい人形劇をしていただきました。七十名あまりの子供たちは、目を輝かせておはなしの世界へ。途中歌を歌ったり手あそびをした一時間でした。



人形劇に見入るこどもたち

おはなし いっぱい!!  
たのしさ いっぱい!!

～夏休みおはなし会～

十二月には「クリスマス会」もあります。どんなおはなしがとびだすか、お楽しみに!!

楽しさ一二〇%の「おはなしひろば」

九月十六日と十七日、東宇治図書館で「おはなしひろば」を開催。「ねずみのよめいり」のエプロンシアターをはじめ、ペープサートや大型紙芝居などを、図書館サークルとお話の好きな利用者の方に熱演して頂きました。愉快で楽しいお話に子供たちも大喜び。二日間で参加者は九十名。会場のお母さん方にも、お話に入って頂く一幕もありなごやかな雰囲気でした。



みんなて手あそび たのしいね。

郷土のはなし

亀 石

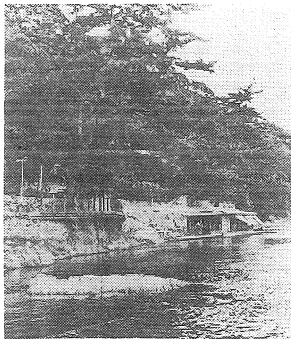
興聖寺石門よりやや南の宇治川に、亀の形をした自然石があります。この石は亀石と呼ばれています。江戸時代に出版された「都名所図会」や「宇治川兩岸一覽」などの地誌にも、この亀石は名石として紹介されていますので、相当古くから、人々に知られていたことが分かります。

ところで、この亀石に因んだ伝説が二つあります。その一つは、ある時垂仁天皇が、山城国を行幸しているとき、宇治郡大國郡附近に不遅の娘綺戸辺という美人がいることを聞き、ぜひ逢いたいと思い、大國郷へ向かわれました。天皇は「途中で奇瑞が起れば、その美人に逢うことができるだろう」と言ってお道を進みました。

すると川の中から大きな亀が現れたので、天皇は矛でその亀を刺し貫いたところ、その亀はたちまち石に変わりました。その石がこの亀石だということです。天皇はこれが瑞兆のしるしとして喜んだことはいままでもなく、綺戸辺にめぐり逢うことができ、やがて後宮にむかえました。

もう一つの伝承は、豊臣秀吉が伏見城を築城しますが、その堀の水を宇治から暗渠を通して引いたとされていますが、その水の取り入れ口が亀石のところで、亀石は地下水路の蓋であるということです。おまけに、豊臣秀吉が、宇治橋三ノ間から通円に茶の水を汲ませますが、実はこれはカムフラージュであって、本当は、通円には、この蓋である亀石を見張らせていたのだということです。

二つとも面白い伝承ですね。急流な宇治川中には、いろいろな奇岩・名石がありますが、亀石もその一つでしょう。とりわけ亀はめでたいものだとえとされていることもあって、このような伝承が生まれたと思われれます。宇治川の水が多いときには、水に隠れることもありませんが、宇治川を散策された折には、亀の形をした珍しい自然石をご覧ください。



亀 石

本をかりるには

一 利用案内

- ・市内にお住まいの方、市内に通学されている方ならどなたでも1人5冊、かりられます。
  - ・貸出券は、中央図書館・東宇治図書館・移動図書館の共通券です。
- 中央図書館・東宇治図書館
- ・貸出期間は、3週間です。
  - ・開館時間は、9時～17時です。
  - ・休館日は、毎週月曜日・毎月末日 国民の祝日・年末年始 土曜・日曜もあいています。
- 移動図書館〔そよかぜ号〕
- ・月に市内23カ所を巡回しています。
  - ・日時・場所は、毎月1日号の市政だより「そよかぜ号」巡回日程をご覧ください。
  - ・次回巡回日に返却して下さい。

読書週間記念講演会

とき 十一月十一日(土) 午後二時から四時

ところ 宇治市中央公民館 展示集会室

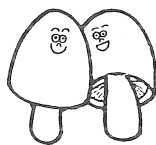
テーマ 「自分史と古典」

—— 創作の喜びと古典の鑑賞 ——

講師 樋口茂子 氏  
代表作品 「三十六歌仙の舞台」  
「凍土」 「自分史の作成と鑑賞」  
入場無料



集 編 後 記



◆すっかり秋らしくなり昼間はさわやかな風を頬に受けて本を読み、夜は虫の音を聞きながら、またまた本を読む。「読書の秋」とはよく言ったものです。さて今号では待ちに待った西宇治図書館の建設計画を載せています。どのような感想をお持ちになりましたか。誰もが気軽に使える図書館にしていきたいと思っています。